

あさみ会報

朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部
発行責任者・北川敏雄
松阪市大宮町209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-52-0007

2014.3.31 発行
第46号

朝見つ子が伸びやかに創作

第8回ふれあい作文コンクール 青少年育成部会

全校児童が応募

18点が優秀作品に

青少年育成部会恒例の朝見小学校児童を対象にした第8回ふれあい作文コンクールが行われた。青少年育成部会恒例の事業で、今年度も夏休みの課題として実施。全児童106人から応募があり、野林恵利子部 長らが審査し、優秀作品18点を選んだ。表彰式は10月、学校体育館で行われ、18人には賞状と図書券が、全校児童に参加賞がおくられた。(以下優秀作品を原文のまま、低学年から順不同で紹介しします)

「なつまつりのこと」

1年 たなか りょう

なつまつりのことについて、がっこうのそとでやっていました。おおきくやへらがあって、りょうはびとやせんせいをみつけたよ。でもはずかしかったから、いかなかったりきくんもいたよ。ほんおどりをしたよ。しんがいはうまくおとれたよ。だって、れんしゅうしたからうまくおとれたよ。それで、ちかくのおばさんに、じょうすといわれたよ。いわれてうれしかった。

「なつまつりのこと」

1年 ひらた はやと

かまくらといっしょになつまつりにいきました。まず、しんがいがおとりをとおどりをしたよ。そして、すーパーホールやさんでくじをひくと、いいキッキッとしているものがあつりました。そしたらおどりがあつりました。カラカラもひきました。ゆうひがとくくになつなっていました。そして、7じになると、はなびがあつりました。どんとどつとなりました。あつそつでした。きれいでした。

「生きものをまもろう」

2年 木下 柚加

さいしんじ、「じつちゅう先生が、「うたあ。」といっていました。わたしはそのときまだ一びきもとれなかつたので、「じつちゅう先生」と呼ばれたよ。わたしは「一びきもとれなかつたよ。」といっていました。ちゅう先生が、「いっしょにたももてて、いかにめはつれなかつたか、いかにめはつれな

ました。そして、さかなだけだとおもっていたら、ざりがいたのでわたしは「キヤート。」さけんたら、ちゅう先生が、「どうしたん。」といつてざりがにをとってくれました。それで、わたしはバケツをもってきたけど、たももってきてもなかつたので、りょうくんはさかなのおやどに入りたくなかつたのでわたしはりょうくんにたもをかしてもらってやりました。りょうくんはわたしのバケツに水をくんでくれていました。やさしいなあと思いました。さかながとれたさかなの名まえは、めだが一びきしかとれてなかつたので、きた村さんにいっばいめたかがあるところについて、めたかが十びきくらになつきました。

「いきものをはなしたよ」

2年 岡田 綾子

六月四日、「いきものをはなしました。わたしは、魚やザリガニが大好きなので、くのがたのしみでした。わたしは、青いたもといひバケツと黄色い手ぶくろをもっていました。くつをはいていたら、ももかささんが「手ぶくろをわすれた。」と言っていたので、わたしが黄色い手ぶくろをかしてあげたら、ももかさんは、「ありがとう。」と言ってくれました。学校のゆうぐのところにいきまいた。とうめいのくろくろに魚が入っているくろくろを見てみたら、けし「ムムム」の音がなっていました。かがいっばい魚がいました。そして、いよいよ二年生が魚のおよとから魚をとるばんになりました。わたしはちゅう先生にさかなのおやどに入れてもらいました。すこくつめたい水でした。わたしはちゅう先生が見えたので、あみですくってみたら、魚がバケツに入りました。五ひきくらに入っていました。

びと先生にきれいな水にかえてもらいました。あさみちうちえんのちかくのすいろに、先生や一年生から三年生がいました。カメラマンとかいるんな人がいました。入つても入らなくてもよかつたので、わたしは入ることになりました。入つてバケツに入っている魚をながしてみました。はたしてはけるくつをはいて入ったので、なにか魚かわからないけど、わたしのあしにくついできて、「くちゅくちゅ」って音がしました。かきさんとことねさんといっしょに入つていたら、カメラをもつたおにいさんがきてバケツに水を入れて、せいので、ゆかささんとことねさんとわたしでながして、そのときにおにいさんがカメラで、そのことをとつてくれました。そして、おにいさんが、「ありがとう。」と言ってくれました。

「朝見のいいこと」

3年 笠井 心優

わたしは、朝見小学校はえ顔いっばいだと思います。とうしてかと言つたわたしが見る時には、みんながえ顔を出し合ひ楽しくしているからです。時ときけんかをしてないたりしているけど一番みんながわらっているのをよく見ます。みんながたすけ合ひ、けんかしてまた、仲直りをして、そしてえ顔が出ます。けんかした子とも仲直りをしてえ顔をとりもどします。もし朝見小学校でいじめが多いとみんなもえ顔をささなくなり暗い朝見小になつてしまひます。だからこうして朝見小にじめがほほしいからこうして朝見小にえ顔があふれているんだと思います。学年がちがつてもえ顔を出せば友達になれると思います。どんな時にえ顔が出るかはうれしい時、楽しい時、何かをしてよくなつてみんなの、気持ちがいい時に、え顔が出るんだと思います。ほかにも、おはなすかなつたり

の自然を守ろうと取りくんでいる地域の方々がいます。私たちも学校でメタボ救出大作戦ということでメタボなどの魚を救出しました。朝見小学校で、おやどの中に入れてみました。その後メタボなものを川に返しました。みんな元気に川に返されました。今ごろ私たちのように大きく育っていると思います。毎年ちがう学年がやるのでみんな体験できていいと思います。

そして4年、5年、6年になると委員会があります。さいばい委員では、いろいろな植物を育てたり、水をやったりして植物のすばらしさが実感できてもいい委員会だとお思います。2つ目は朝見のお米です。8月にはいなほが黄金色に染まります。そして5年では、もち米を育てました。地域の人たちが手伝ってくださいます。田植えては、みんな下口口になりながら一生けん命がんばってすぐに終わりました。いねかりでは一人一人写真もとりました。みんながんばってらすく終りまして。田植もいねかりもがんばったのですく終られて良かったです。

そしてそのもち米をもちにしてくださいました。地域の方々と先生たちと友達の人たちでした。

がんばったのでおもしろかったです。そしていつもお米も地域の方々がやってくれたから食べられるのでそのことを考えたたら、もちおこしや餅などお米が食べれない国などもあるのだからにそのことを考えて食べたいです。いつもお米のように食べている物がこんなにながりに

なっているの、私はこの作文を書いて地域の方々に伝えてもらっているのはとてもすばらしいことなんだというくらい実感できました。地域の方々はそれだけでではなく、いろいろなことをやってくれています。3つ目は、地域の方々とのふれあいです。学校行事では、積極的に参加してきずなを深めています。

いつも声をかけてもらって、学校の行き道帰りの道では、「おはよう、いってらっしゃい」「おかえり」と声をかけてもらう事で私達も見守って頂いているという安心感があります。地域の方々はともやせしく、いつもあたたかみ守ってくれています。そんな地域の方々のことを私はすごいなと思います。いつもあたたかみ守ってくださいます。なので今もこれからも私は朝見の町が好きです。

「行事と自然がいつばい」朝見地区」

朝見地区にはたくさん行事があります。ほくは、その中でも地域のみなさんとあかいた子供も参加できる行事がいろいろあります。まず防災訓練です。地震の訓練では、震度の強さの強いものがどういふものなのかを体験できたり、地震が起こった時にどこに避難かなどを家族で相談しておくこと大切さを学ぶことが出来ます。火災が起きた時の訓練も行いました。バケツリレーや消火器をつかった消火、実際にホースを使ってたぐり

んの水を出して消火するのは大人の人達が中心だったけれど、本当のけむりではないけれど、けむりの中を鼻や口をハンカチや手でふさいでけむりをすわらないように外に出るといふ訓練はできました。

けむりで前が見えないので、火事があったら、はやく逃げないといけないと思います。また、レスキュー隊の人たちが、木の中にもぐってしまつて動けないという状態での訓練も見学することが出来ました。レスキュー隊の人たちは動きもよく何でもケバキバキできていたのですごいなと思いました。それに賞をもらったこともあるそうです。

次はグラウンドゴルフです。子供から老人まで幅広い年齢の地区の人たちとしゃべったりすることが出来ます。とても良い行事だと思つています。そして運動会です。大人も子供も参加できる行事がたくさんあります。まず親子競技です。お母さんやお父さんや子供たちが一顧となり競走します。そして、大人と子供のきずながあかめられるいい機会となります。そして低学年と老年が出られる五入りや、高学年と老年が出られるランドゴルフもあります。今年も、あいにんの雨で中止になってしまつたか物別走はとても楽しいものです。また地区対抗のものもありまして、子供たちは見ておうえんしています。それだけでもとても楽しいものだと思つています。

朝見には自然もいろいろあります。季節が変わると、それにあわせて植物の色も変わっ

ていきます。春、田んぼにはまだ小さい稲の苗が植わっています。まわりには、色とりどりの花も咲いています。夏、小さかった稲の苗も大きくなり、稲の形をしていますが、まわりは花ではなく、きれいな緑色の葉がたくさんあります。秋、みどり色だった稲が、茶色くなり、収穫できるようになっています。

田植えになるまで、静かに休んでいます。花いっぱい運動もやっています。朝見を花いっぱいにするには、まわりで一生懸命育てた花を地域のひとたちに届けます。きれいな花を見て、喜んでくれた時は、とてもうれい

「素晴らしい朝見」

私は、この朝見地区で育つことができて本当に良かったと思つています。朝見地区には、自然がたくさんあり、心優しい友達や、地域の人たちがいるからです。登校している時に、私が地域の人に大きな声であいさつをしたら優しく、大きな声であいさつをしてくれました。いつも地域の人は、毎回元気に学校に行きます。学校に着いたら、優しい友達がいいます。毎日教室に入ったら、あいさつをしてくれます。朝見

それに、みんな一人でいることがないように、遊んでいます。たまにクソカをしてしまうこともありますが、すぐに仲直りして一緒に遊びます。友達と一緒にいたり、遊んでいると、とても楽しいです。これからも、ずっと友達を大切にしたい、小学校の思い出をいっぱい作っていきたく思います。

朝見は、自然にかこまれていて、優しい友達や、地域の人から、楽しい、面白い行事がたくさんあつてくれます。私も、朝見のいい所は自然があるという事と行事があるという所です。春はサクラの木がサクサクといっぱいで、とてもキレイです。私も、私ほが大好きです。夏は、とっても毎日暑いので大変です。けれども、学校でプールがあるのうれいです。それに、夏は朝見で祭りがあつて楽しいです。夏休みで、全然あわな

友達がいてるので夏祭りにほんとどの友達があつてくれるのでうれいです。夏休みは、楽しいけれど、みんなにすることができないのが残念です。けど、夏休みは地区が一緒の友達とは遊ぶことが出来るので良かったです。秋は、文化祭がありました。文化祭では、お母さんたちが作ってくれたうどんやフランクフルトなどを券で買って食べます。学校で、給食がでるのでそんなに食べる

ことができないけれど、とてもおいしいです。お母さんたちに、感謝しています。冬は、花いっぱい運動があります。全校で一生けんめい、がんばって育てたパンジーのお花を地域の全員にくはります。いつも地域の人は、ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。

わきあいあいと3世代交流事業 メタボ体操にも一汗

では、春、夏、秋、冬といふ異なる行事があつて楽しいなと思います。できるだけ、いろいろな行事に参加したいと思います。



社会福祉部会主催の3世代交流事業「クリスマス会」が昨年12月22日、市民センターで開催された。27人が参加し、孫と親、祖父母の楽しい一時を過ごした。

朝見まちづくり協議会の立ち上げから尽力し、平成18年の創設から事務局局長を担当し、昨年6月から会長として活躍のつづいた鈴木三千夫会長が2月11日、三重大学病院で腎臓がんのため永眠しました。(享年65歳)

追悼 鈴木三千夫会長死去

通夜は2月14日、告別式は15日、市内のリ・フルにてしめやかに営まれ、告別式の参加者は600人を超え、在りし日の人望の厚さを物語りました。まちづくり事業が道半ばだっただけにさぞ心残りだったと察します。これまでに培った朝見の人々の熱い和を誇りに思つており、東部管内の防災組織立ち上げができたことが大きな成果となりました。今後は鈴木会長の遺志を生かし、引き続き心をこめて働いていこうと、後援会長が今期にあたる6月の本年度総会で会長代行の任にあたります。